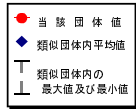


(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

富山県高岡市

人口	173,192	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	169,952	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	209.67	km ²	実質公債費比率	16.2	%
歳入総額	72,699,967	千円	将来負担比率	180.3	%
歳出総額	72,107,289	千円	市町村類型	H25 IV-1 H26 IV-1 H27 IV-2	
実質収支	419,097	千円	(年度毎)	H28 IV-2 H29 IV-2	
標準財政規模	38,437,791	千円			
地方債現在高	112,851,001	千円			



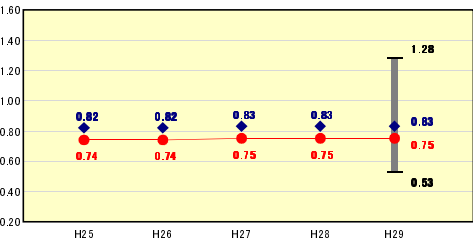
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。
 ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

類似団体内順位 12/17 全国平均 0.51 富山県平均 0.57

財政力指数の分析欄

近年は横ばい傾向にあるが、類似団体の平均を下回っている状況にある。企業立地や定住施策等の推進するとともに、課税客体の捕捉や収納率の向上に取り組み、市税等の歳入確保に努める。

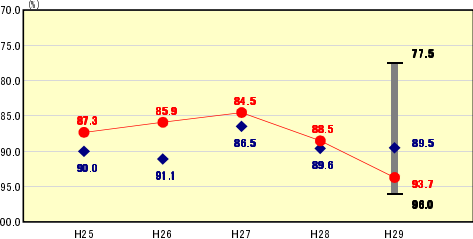


財政構造の弾力性

類似団体内順位 15/17 全国平均 92.8 富山県平均 90.3

経常収支比率の分析欄

公債費、ごみ処理施設整備の償還に伴う一部事務組合への補助費等、大雪による除雪経費など経常経費充当一般財源が増加したことで、前年度より悪化した。
 持続可能な財政運営に向けて、①投資的経費の抑制、②公債費の平準化、③公共(的)施設管理コストの縮減、④事務事業の見直し、⑤総人件費の圧縮、⑥歳入の確保を柱とした「高岡市財政健全化緊急プログラム」(計画期間:2018(H30)~2022年度)を策定し、財政構造の体質改善に向けて取り組む。

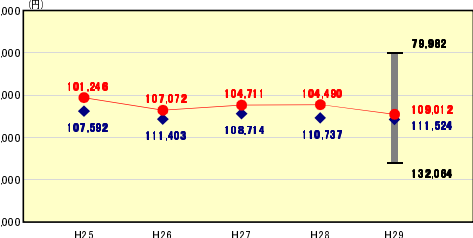


人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 8/17 全国平均 131,654 富山県平均 119,627

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費は減少傾向にあるが、物件費は北陸新幹線の開業に向けて整備してきた施設の維持管理費等の増加により増加傾向にある。
 今後は、「公共施設再編計画」に基づき、公共施設の再編を推進するとともに、「財政健全化緊急プログラム」に掲げている公共(的)施設管理コストの縮減、事務事業の見直し、総人件費の圧縮に努める。

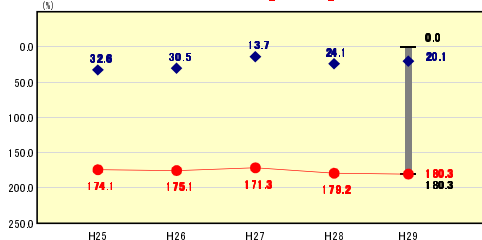


将来負担の状況

類似団体内順位 17/17 全国平均 33.7 富山県平均 102.1

将来負担比率の分析欄

北陸新幹線開業にあわせて都市基盤整備や小中学校の耐震化等に伴う市債発行により市債残高が増加し、同様に将来負担比率も増加傾向にある。
 今後は、財政健全化緊急プログラムに掲げる投資的経費の抑制により市債発行額の抑制を図るとともに、繰上償還を実施することで市債残高を減少させることで、将来負担の軽減を図る。

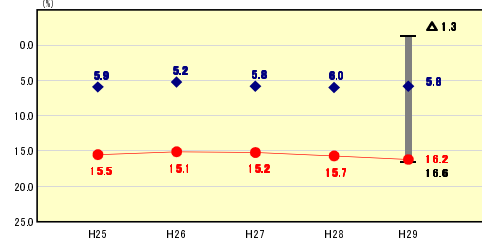


公債費負担の状況

類似団体内順位 16/17 全国平均 6.4 富山県平均 11.8

実質公債費比率の分析欄

北陸新幹線開業にあわせて都市基盤整備や小中学校の耐震化等に伴い発行した市債の償還が本格化してきたことにより、実質公債費比率は増加傾向にある。
 今後は、財政健全化緊急プログラムに掲げる投資的経費の抑制による市債発行額の抑制や借換による公債費の平準化、財政状況に応じた繰上償還の実施など市債管理を徹底し、公債費の抑制に努める。

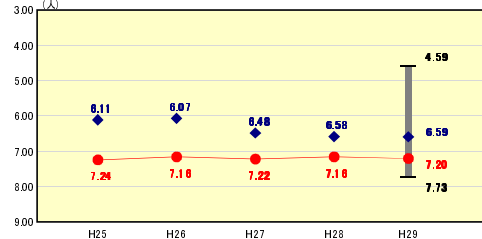


定員管理の状況

類似団体内順位 13/17 全国平均 7.91 富山県平均 7.40

人口千人当たり職員数の分析欄

人口千人当たり職員数については、類似団体平均に比べ高く、人口減少が見込まれる中、少数精鋭の組織を目指していかなければならない。
 現在、「行政改革推進方針」においてH27年度からの5年間で70人の減員、「財政健全化緊急プログラム」においてH30年度からの5年間で70人を超える職員数の減員を掲げて計画的な削減を進めており、H31年度初の職員数はH27年度初比△103人、H30年度初比△41人の減員を見込んでいる。
 今後も、事務事業の執行体制の見直しや民間活力の活用等による効率的な行政運営を進めるとともに、住民サービスの水準に配慮したうえで、職員数の適正化に努める。



給与水準(国との比較)

類似団体内順位 16/17 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.4

ラスパイレース指数の分析欄

ラスパイレース指数は、職員の年齢構成が歪なことにより若手職員の係長等への登用が多くなっていること等の影響から、類似団体の中で高い状況にある。今後は、退職者数の減少に伴う登用数の減少により、昇任年齢の引き下げ傾向が抑制されることから、指数は適正化に向かうと見込んでいる。
 当面の措置として、H30年度から「財政健全化緊急プログラム」に基づき、医師等を除く全ての職員を対象に給料の臨時削減を行っている。

